

あなたも民主党に参加しませんか？
 民主党の運営と活動を支え、ともに行動する
党員・サポーターを募集しています。
 党員 年会費6,000円
 サポーター 年会費2,000円
 お申込み、お問い合わせはたけまさ事務所まで

国会見学会
 2月27日 / 3月22日 / 4月24日
 参加費：無料
 各日とも午前11時～午後2時
 (現地集合、現地解散)
 たけまさ公一からの国会報告も予定しています。
 お申込み、お問い合わせはたけまさ事務所まで

岩槻・浦和・緑・見沼区で、たけまさ公一とともにより良い地域を実現します
**民主党埼玉県第1区
 地方議員並びに県政・市政担当者**

井上 将勝
 県議・見沼区



昭和54年生まれ
 民主党・無所属の会 / 福祉
 保健医療委員会 / 次世代人
 材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

原田 健太
 市議・浦和区



昭和42年生まれ
 民主党さいたま市議団 / 予
 算委員会 / 大都市行財政委
 員会委員長 / 文教委員会

小柳 嘉文
 市議・浦和区



昭和40年生まれ
 民主党さいたま市議団 / 市民
 生活委員会 / 見沼田圃将来
 ビジョン委員会 / 決算行政委員会

神崎 功
 市議・緑区



昭和30年生まれ
 民主党さいたま市議団長 / 民
 主党埼玉県連副代表 / 総合政
 策委員会 / 議会改革推進委員会 / 予算委員会

武田 和浩
 市議・見沼区



昭和36年生まれ
 民主党さいたま市議団 / 市
 民生活委員会 / 地下鉄7号
 線延伸事業化委員会

三神 尊志
 市議・見沼区



昭和55年生まれ
 民主党さいたま市議団 / 総合
 政策委員会副委員長 / 見沼
 田圃将来委員会 / 決算行政委員

高野 秀樹
 市議・岩槻区



昭和35年生まれ
 民主党さいたま市議団副団
 長 / 地下鉄7号線延伸事業
 化委員会 / 議運委員会

松岡 耕一
 緑区・県政担当



昭和51年生まれ
 民主党埼玉県第1区総支部
 幹事

石田 昌生
 緑区・市政担当



昭和35年生まれ
 民主党埼玉県第1区総支部幹
 事

たけまさ公一プロフィール

……………昭和36年(1961年)生まれ
 ……さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業
 ……平成元年、松下政経塾卒業 平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選
 ……平成24年12月16日、衆議院議員5期目当選

【内閣】前財務副大臣 / 元外務副大臣
 【衆議院】財務金融委員会委員 / 憲法審査会幹事 / 青少年問題に関する特別委員会委員
 【民主党本部】総務委員長 / 税制調査会副会長

たけまさ公一事務所

浦和事務所	さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2階	TEL 048-832-3810	FAX 048-832-3846
岩槻事務所	さいたま市岩槻区本町5-5-12	TEL 048-749-6801	FAX 048-749-6802
国会事務所	千代田区永田町2-1-2第2議員会館312	TEL 03-3508-7062	FAX 03-3519-7715



号外

埼玉県(第1区版)
 平成25年1月31日発行

民主党プレス民主編集部
 東京都千代田区永田町1-11-1
 TEL 03-3595-9988 (代表)
 民主党埼玉県連広報局
 さいたま市浦和区高砂3-6-16
 TEL 048-833-3500 FAX 048-833-3503
 URL http://minshu.org E-mail info@minshu.org

衆議院議員 たけまさ公一 国会レポート 第148号



1月15日、29日

**補正予算案、25年度
 予算案閣議決定**

1月23日、30日

党綱領検討委員会

1月29日

党改革創生本部

民主党埼玉県第1区地方議員
 並びに県政・市政担当者

第183通常国会が始まり、武正公一議員の所属委員会決まる

憲法審査会幹事

すでに国民投票法案も成立しており、これまで現憲法検証も第四章まで行っ
 てきました。民主党として党憲法調査会のもと党内の議論も進めていきます。

財務金融委員会

経済好転、デフレ脱却を実現する為、財務副大臣の経験を踏まえ、与野党間
 での協力のもと、正すべきは正しながら決められる国会にしていきたいと思います。

青少年対策特別委員会

昨年10月共通試験が行われた「ガイダンス・カウンセラー」の採用の拡大と、
 職業教育の充実に努めます。

補正予算案、25年度予算案閣議決定

……………2013年1月15日, 29日

【経済活性化に向けた大規模補正予算】

1月15日、政府は予算規模13兆1,054億円の24年度補正予算案を閣議決定しました。

「デフレ脱却、経済活性化の観点から切れ目のない経済対策を講じる必要がある」、「2013年冒頭に大規模な補正予算」という民主党マニフェストから、早期編成とその規模については評価できます。

具体的な用途については精査が必要で、予算委員会で審議していきます。

【実質的には50兆円の借金】

1月29日、政府は、25年度予算案を閣議決定し、一般会計の総額は92兆6,115億円となり、過去最大の規模になりました。

借金に当たる国債の新規発行額は、1兆3930億円減って42兆8,510億円となっていますが、不足の事態に備え積み立てていた国債整理基金特別会計から7兆円を取り崩して、実質的には50兆円近い借金で賄われています。

東日本大震災の復興予算に関しては、民主党政権下で実現した日本郵政株の売却収入を財源の中心として、これまでの19兆円から、25兆円に総枠を拡大させることができ、復興を加速させていくことが可能となりました。

【2%の物価上昇目標】

1月22日には、政府と日銀がデフレ脱却のために2%の物価上昇率の目標を盛り込んだ共同声明を公表しました。

民主党政権での昨年10月に「デフレ脱却に向けて政府日銀が一体となり、最大限の努力を行う」との共同文書を足掛かりに、さらに一歩踏み込んだ内容となったことは評価できます。

一方、安倍政権は物価上昇率2%の達成を目標に掲げる政策を明示していますが、所得が増えないまま物価だけ上れば、国民の生活へ大きな負担をかけることとなります。

雇用と賃金を置き去りにしたままでは、インフレ政策は十分な効果が

上がらず、財政悪化だけが進む可能性があります。

まず、デフレ脱却には個人消費の拡大が不可欠で、そのためには雇用の安定や賃金の改善によって所得を増やすことが何よりも必要です。

下げ止まりの兆しがみられる経済を更に好転させていくために、国会の財務金融委員会で徹底論戦に臨みます。

党綱領検討委員会……………2013年1月23日, 30日

これまで2年にわたり検討を重ねてきた党綱領の改定について、役員会でまとめた「民主党綱領 たたき台(案)」をもとに党綱領検討委員会(委員長・細野豪志幹事長)総会が開催され、全党的な議論を開始しました。

衆議院議員選挙を踏まえ15年ぶりの綱領の見直しなので、全議員対象の綱領検討委員会総会を開催します。

また、都道府県連での議論を経て2月24日の党大会での採択を目指します。

2月24日開催の党大会で武正議員は、実行委員会事務局長を務めます。

参議院選必勝に向けた大会にすべく全党をあげて議論を深めます。

党改革創生本部……………2013年1月29日

党改革創生本部は、29日北海道大学教授で政治学者の山口二郎氏を講師に招き、党改革に向けての勉強会を開催しました。

今後も、有識者、党员・サポーター、都道府県連、地方議員の方からも聞き取りを行い意見交換を通じて2月24日の党大会に第1次総括案を提示します。

たけまさ公一web site [takemasa - k.jp](http://takemasa-k.jp)

ブログ「今日のたけまさ 国会便り」日々更新中!

[ameblo.jp / takemasa - koichi /](http://ameblo.jp/takemasa-koichi/)

[www.facebook.com / takemasatoday](http://www.facebook.com/takemasatoday)

[twitter.com / takemasakoichi](http://twitter.com/takemasakoichi)

皆様のご意見・ご要望をお待ちしています

[voice@takemasa - k.jp](mailto:voice@takemasa-k.jp)